

54 「知」の集積と活用によるイノベーションの創出

令和8年度予算概算決定額 2,184百万円（前年度 2,850百万円）  
〔令和7年度補正予算額 2,070百万円〕

<対策のポイント>

農林水産・食品分野におけるオープンイノベーションを促進するため、農林水産省が開設した『「知」の集積と活用の中』において、様々な分野のアイデア・技術等を導入した産学官連携研究を促進します。

<事業目標>

研究成果の70%以上が、次のステージの研究や農林水産・食品産業の現場において普及・活用〔令和9年度まで〕

<事業の内容>

1. 「知」の集積による産学連携推進事業 257百万円（前年度 257百万円）  
『「知」の集積と活用の中』における協議会の運営、研究開発プラットフォームから生み出された研究成果の商品化・事業化、海外展開を促進するマッチングイベントの開催、バイオエコノミーの推進に資する活動への支援等、イノベーションの創出に向けた取組を支援します。

2. オープンイノベーション研究・実用化推進事業 1,928百万円（前年度2,323百万円）  
国の重要政策の推進や現場課題の解決に資する研究成果を創出し、社会実装を加速するため、産学官が連携して取り組む基礎研究及び実用化研究を支援します。

（令和7年度補正予算）アグリテック系スタートアップ重点化支援対策  
農林水産・食品分野における政策的・社会的課題の解決やサービス事業者等の新たなビジネス創出のためスタートアップの発想段階から事業化準備までの取組を切れ目なく支援するほか、現場課題の解決に直結する革新的な技術の事業化を目指す大規模技術実証の取組を支援します。

<事業の流れ>

国

委託  
→  
民間団体等（1の事業）

交付（定額）  
→  
生物系特定産業技術研究支援センター

委託  
→  
民間団体等（2の事業）

<事業イメージ>

「知」の集積と活用の中  
農林水産・食品分野に様々な分野のアイデア・技術等を導入した産学官連携研究を促進するオープンイノベーションの中  
新たな商品化・事業化を通じて農林水産・食品分野を成長産業へ